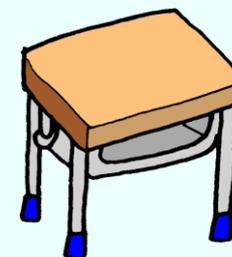




中央地域



市立小・中学校の
将来のあり方について

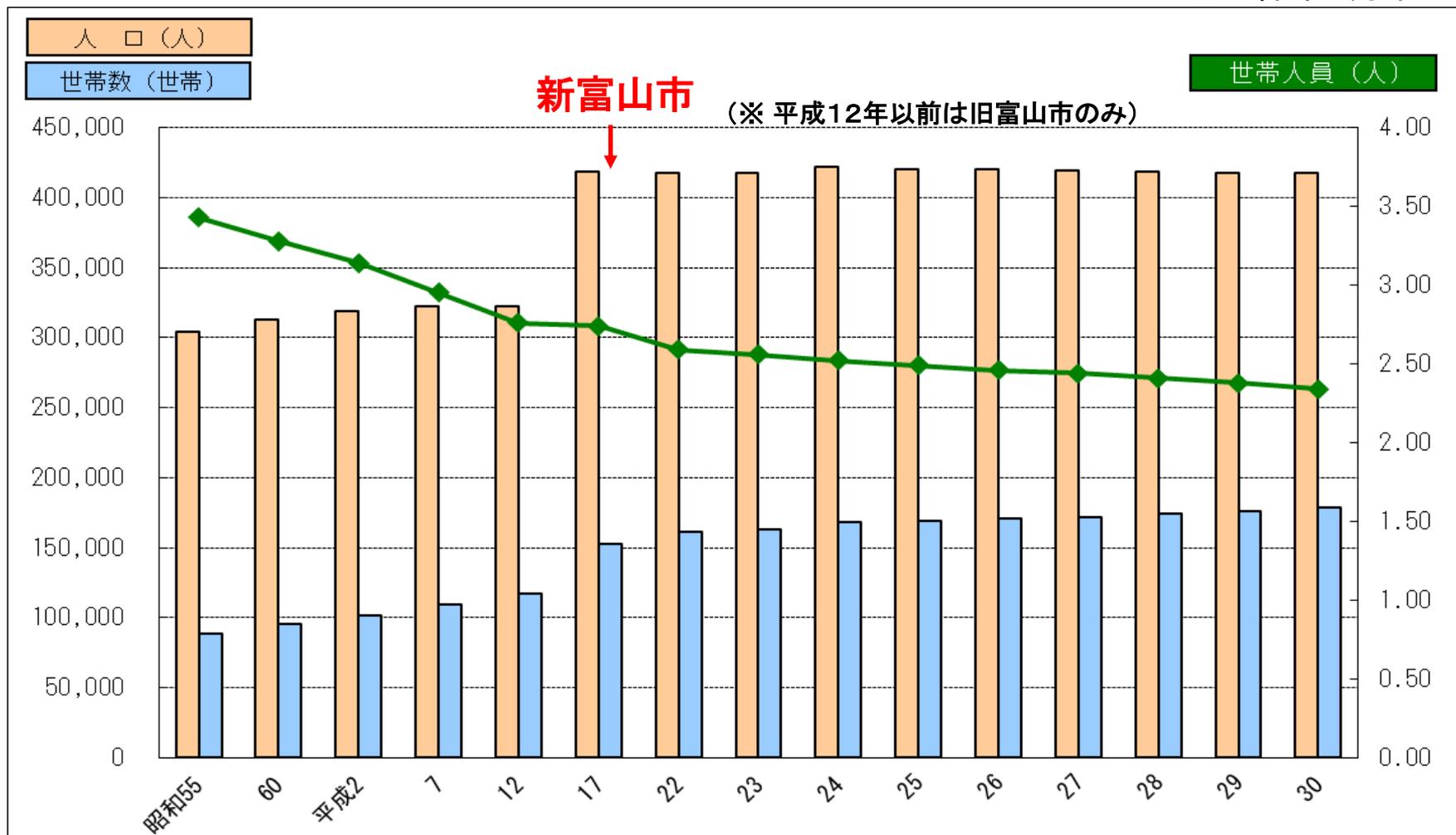


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

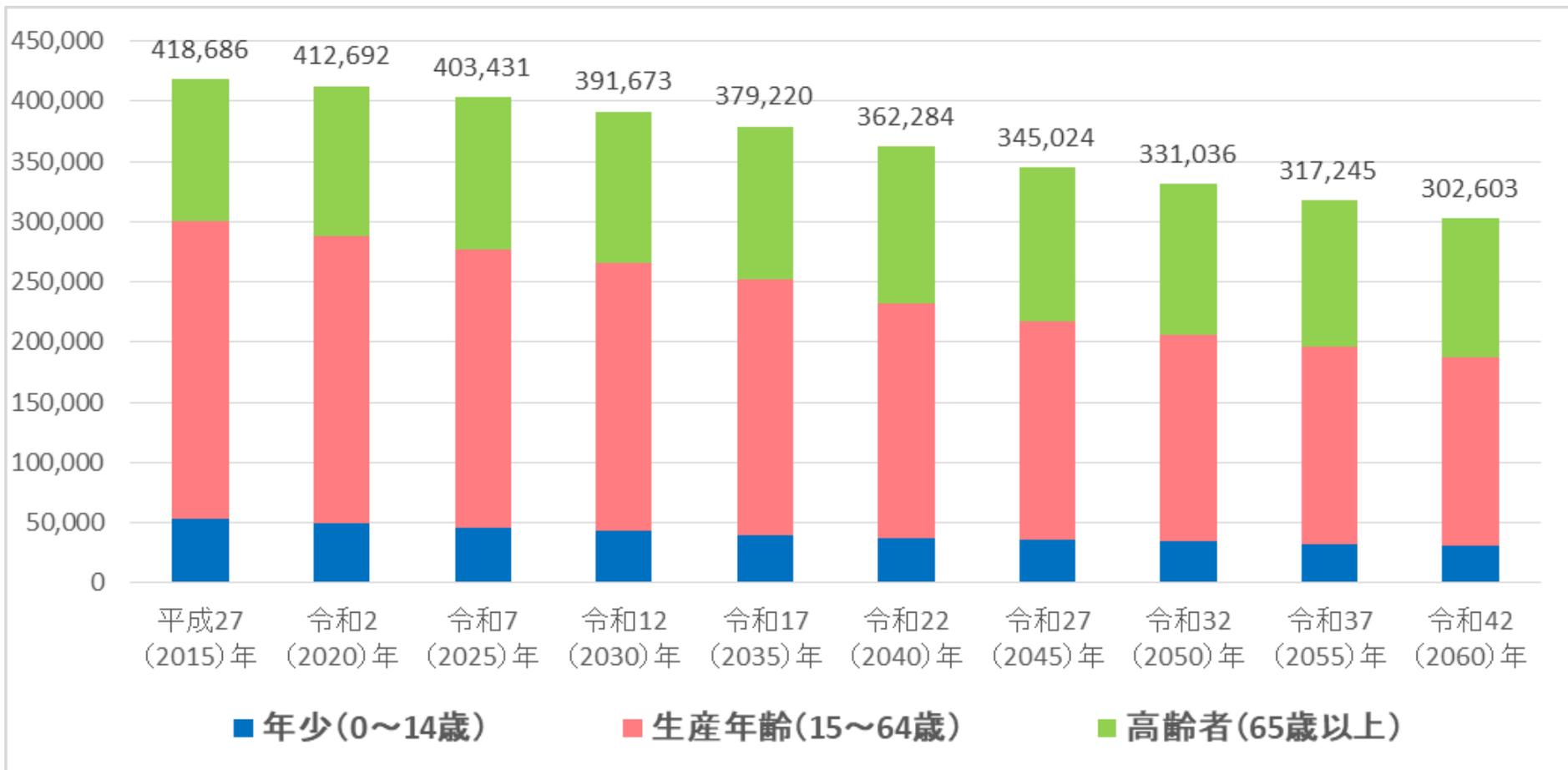
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

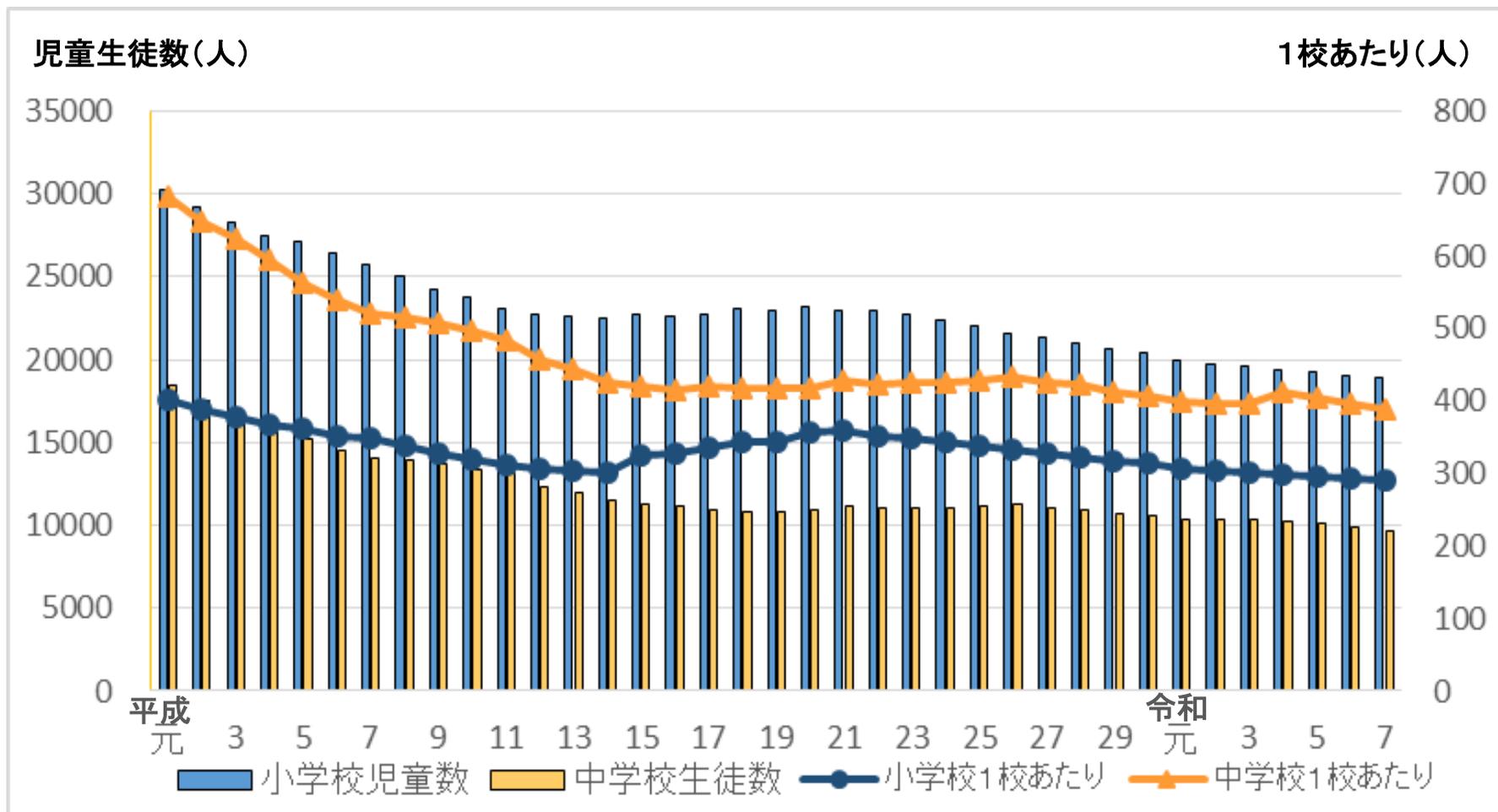
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

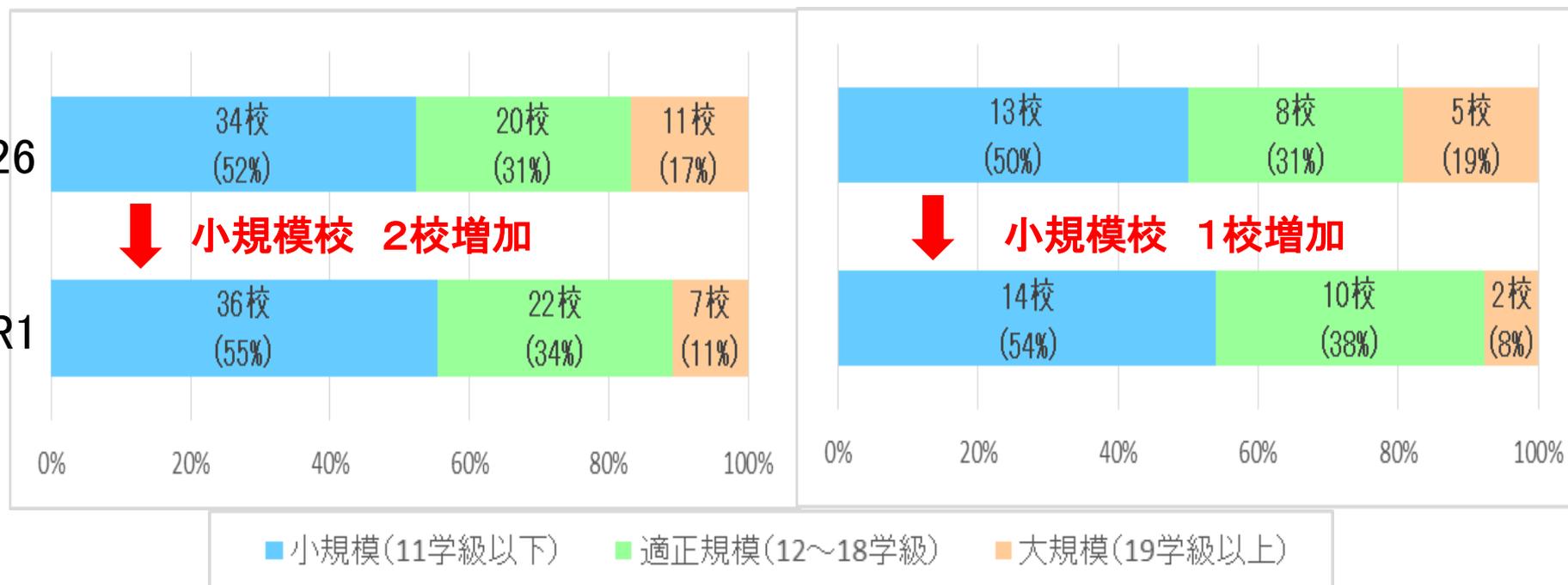
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校

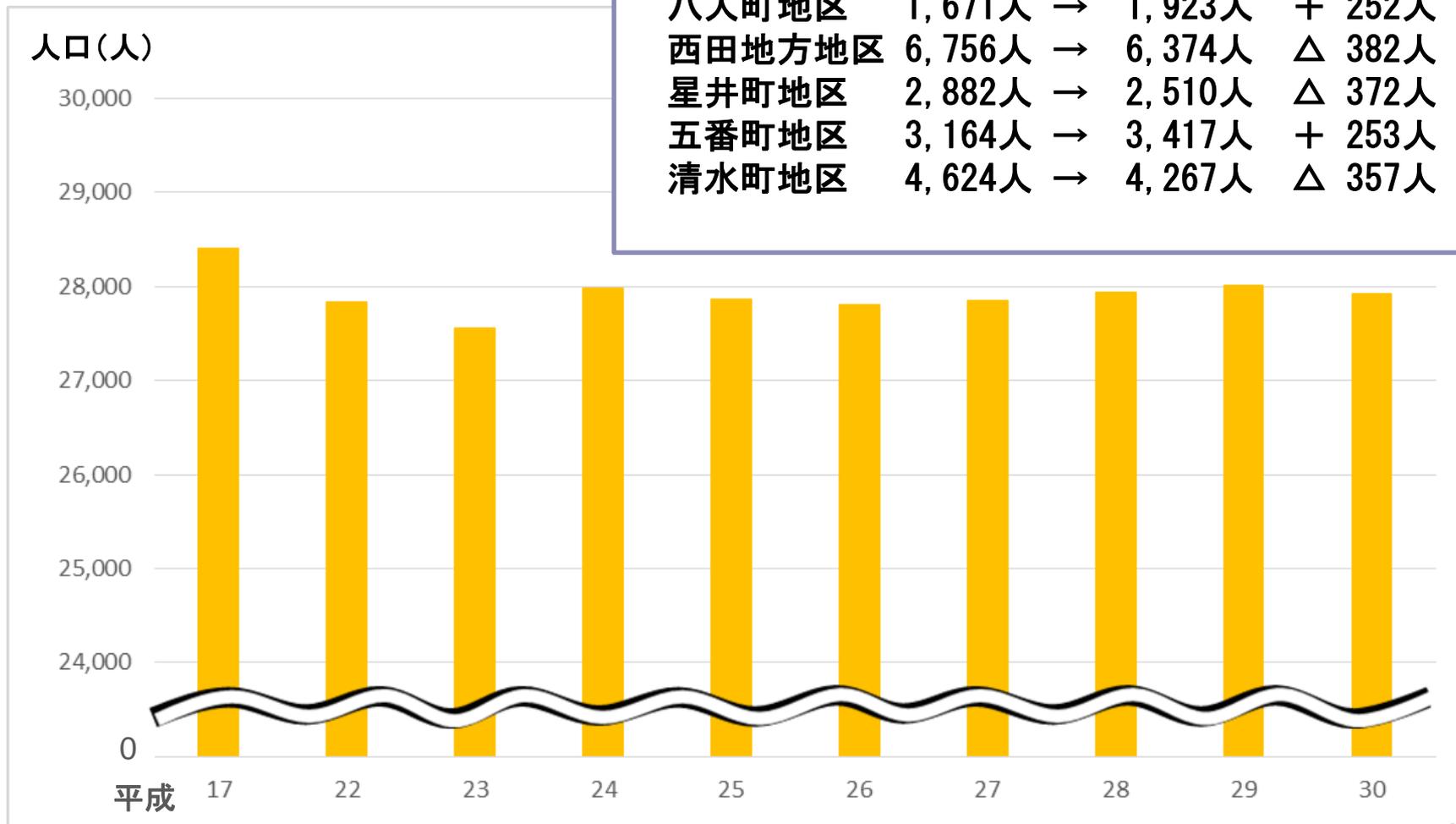


市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 中央地域の状況

(1) 人口の推移

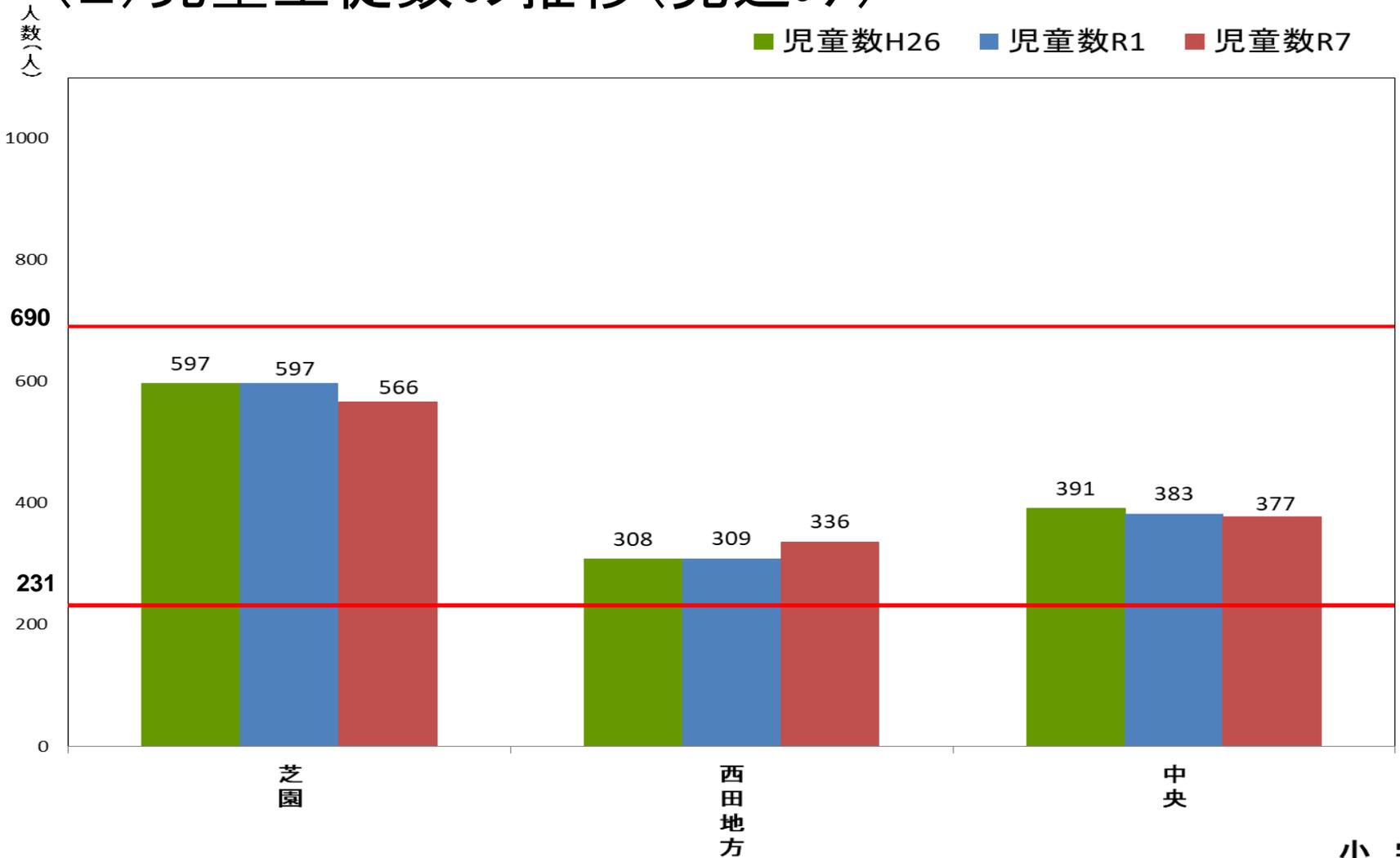
	H17		H30	
総曲輪地区	1,844人	→	2,060人	+ 216人
愛宕地区	4,425人	→	4,404人	△ 21人
安野屋地区	3,036人	→	2,969人	△ 67人
八人町地区	1,671人	→	1,923人	+ 252人
西田地方地区	6,756人	→	6,374人	△ 382人
星井町地区	2,882人	→	2,510人	△ 372人
五番町地区	3,164人	→	3,417人	+ 253人
清水町地区	4,624人	→	4,267人	△ 357人



※ 各年9月末

2 中央地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

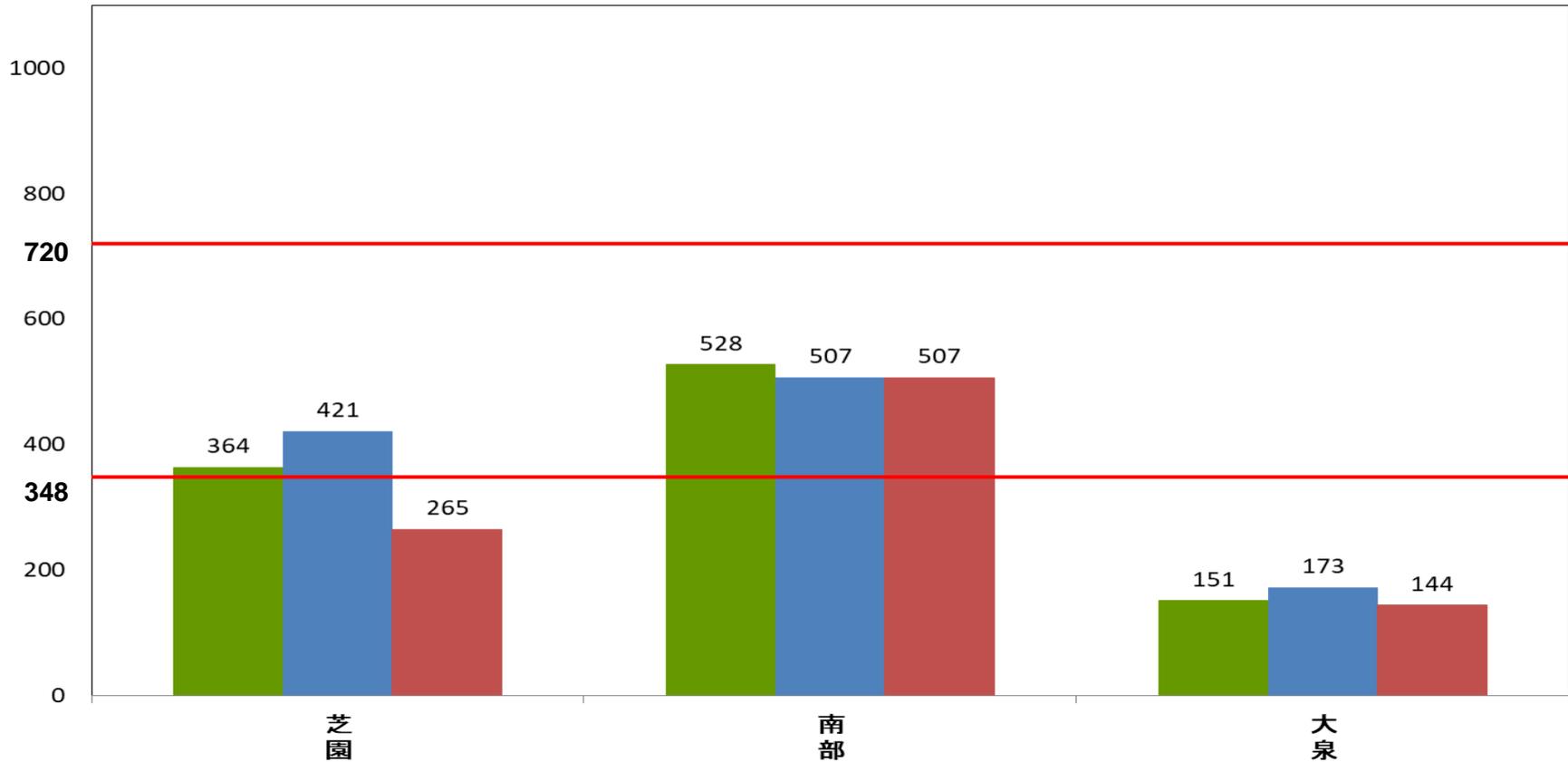


2 中央地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

人数(人)

■ 生徒数H26 ■ 生徒数R1 ■ 生徒数R7



2 中央地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
芝園小	H 2 6	19	101	107	101	90	104	94	597
	R 1	18	100	94	97	98	103	105	597
	R 7	18	88	87	98	87	102	104	566
西田地方小	H 2 6	12	58	51	47	47	56	49	308
	R 1	12	49	58	50	40	51	61	309
	R 7	12	54	54	56	55	55	62	336
中央小	H 2 6	13	57	75	50	76	63	70	391
	R 1	12	55	67	70	60	78	53	383
	R 7	12	57	59	60	79	63	59	377

	大規模 (19学級以上)
	適正規模 (12~18学級)
	小規模 (11学級以下)

2 中央地域の状況

(3) 学校規模の推移(統合前と統合後)

児童数(人)

芝園小

年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
H 1 5	6	16	15	13	20	14	9	87
	6	22	33	20	25	29	30	159
	6	29	14	16	23	16	23	121
	6	10	12	17	10	12	10	71



芝園小	H 2 0	14	77	85	81	64	69	79	455
-----	-------	----	----	----	----	----	----	----	-----

中央小

年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
H 1 5	6	18	20	18	19	21	20	116
	6	30	17	33	23	26	24	153
	7	36	32	36	32	46	39	221



中央小	H 2 0	12	60	70	62	69	57	76	394
-----	-------	----	----	----	----	----	----	----	-----

大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

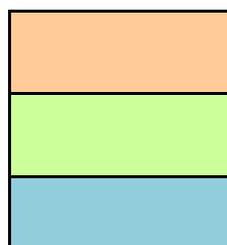
小規模 (11学級以下)

2 中央地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
芝園中	H 2 6	11	124	126	114	364
	R 1	12	143	147	131	421
	R 7	9	86	88	91	265
南部中	H 2 6	15	166	177	185	528
	R 1	14	173	161	173	507
	R 7	15	157	169	181	507
大泉中	H 2 6	6	64	43	44	151
	R 1	6	79	43	51	173
	R 7	6	40	52	52	144



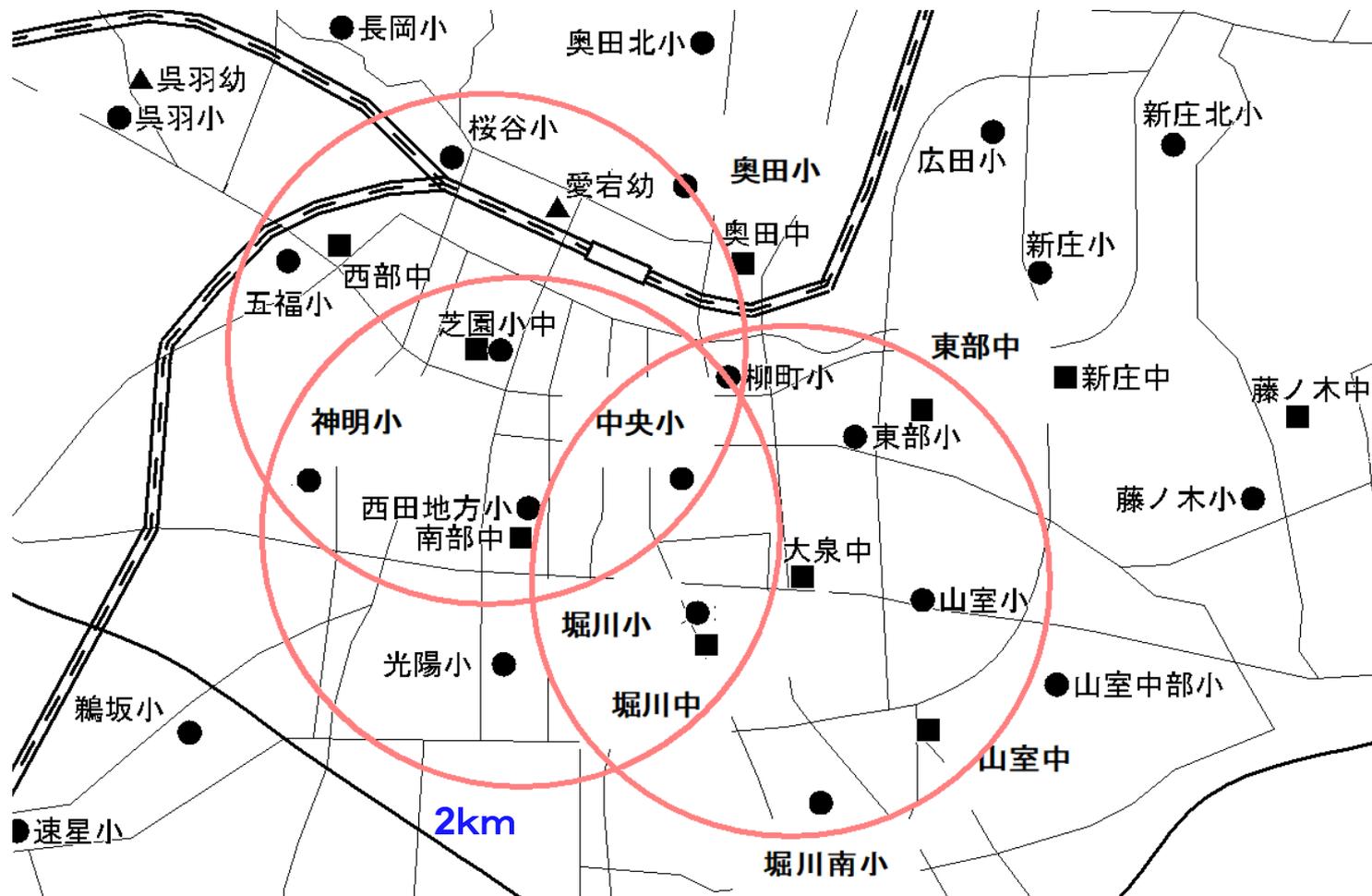
大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)

2 中央地域の状況

(4) 学校の位置



2 中央地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

芝園小

- H17 総曲輪小学校と八人町小学校が統合し、芝園小学校となる（総曲輪小の校舎にて開校）
- H18 安野屋小学校と統合
- H20 愛宕小学校と統合
新校舎竣工、移転（小・中学校一体型校舎）

西田地方小

- H14 校区の一部変更（光陽小学校の開校）
- H22 校舎改築竣工

中央小

- H16 星井町小学校と五番町小学校が統合し、星井町五番町小学校となる（星井町小の校舎にて開校）
- H20 星井町五番町小学校と清水町小学校が統合し、中央小学校となる（新校舎）

2 中央地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

芝園中

H20 新校舎竣工
(小・中学校一体型校舎)

南部中

H15 校区の一部変更(光陽小校区)
H25 校舎改築竣工

大泉中

S61 校舎改築竣工
H29 大規模改造工事竣工

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 小規模特認校制

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

